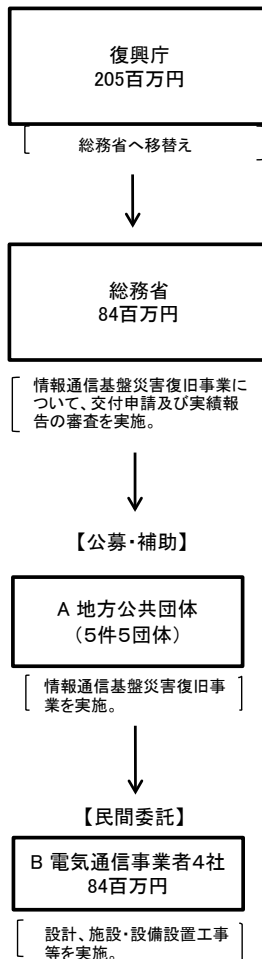


平成27年度行政事業レビューシート (復興庁)

事業名	情報通信基盤災害復旧事業費補助金			担当部局庁	復興庁	作成責任者		
事業開始年度	平成24年度	事業終了(予定)年度	終了年度未定	担当課室	統括官付参事官(予算・会計担当)	参事官 小瀬 達之		
会計区分	東日本大震災復興特別会計			政策・施策名	政策：復興施策の推進 施策：東日本大震災からの復興に係る施策の推進			
根拠法令 (具体的な条項も記載)	総務省設置法第4条第63号			関係する計画、通知等	-			
主要政策・施策				主要経費	その他の事項経費			
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	平成23年3月11日に発生した東日本大震災により被災した地域の情報通信基盤の復旧事業を実施する地方公共団体に対し支援を行い、被災地域の復旧を図る。							
事業概要 (5行程度以内。別添可)	平成23年3月11日に発生した東日本大震災により被災した地域の地方公共団体が実施する情報通信基盤(FTTH等のブロードバンドサービス施設、ケーブルテレビ等の有線放送施設及び公共施設間を結ぶ地域公共ネットワーク施設等)の復旧事業を支援することを目的として、特定被災地方公共団体又はその連携主体に対して、その復旧事業費の3分の2を補助する。							
実施方法	補助							
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算 の 状 況		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度要求	
		当初予算	914	97	215	290		
		補正予算	-	-	-	-		
		前年度から繰越し	-	135	71	81		
		翌年度へ繰越し	▲135	▲71	▲81	-		
		予備費等	-	-	-	-		
	計	779	161	205	371	0		
	執行額	64	140	84				
執行率(%)	8%	87%	41%					
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	定量的な成果目標	成果指標		単位	24年度	25年度	26年度	目標最終年度 - 年度
	当該年度に必要な箇所を全て復旧させる	復旧事業が完了した件数	成果実績	件	3	7	5	
			目標値	件	8	4	6	-
			達成度	%	37.5%	175%	83.3%	
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	24年度	25年度	26年度	27年度活動見込	
	復旧事業の補助金交付決定件数	活動実績	件	8	4	6		
		当初見込み	件	6	3	6	9	
単位当たりコスト	算出根拠		単位	24年度	25年度	26年度	27年度見込	
	支払実績額/実施件数	単位当たりコスト	百万円	21.3	20	16.8	28.5	
		計算式	百万円/件	64/3	140/7	84/5	371/13	
平成27・28年度予算内訳 (単位:百万円)	費目	27年度当初予算	28年度要求	主な増減理由				
	情報通信基盤災害復旧事業費補助金	290						
	計	290	0					

事業所管部局による点検・改善					
項目		評価	評価に関する説明		
国費投入の必要性	事業の目的は国民や社会のニーズを的確に反映しているか。	○	情報通信基盤の復旧について、被災地の県又は市町村から要望書が提出されており、ニーズが高い。		
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。	○	東日本大震災は、未曾有の災害であり、地方公共団体単独での復旧には限界があり、国の支援が必要。		
	政策目的の達成手段として必要かつ適切な事業か。政策体系の中で優先度の高い事業か。	○	情報通信基盤の復旧について、被災地の県又は市町村から要望書が提出されており、事業の優先度は高い。		
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。	-	-		
	受益者との負担関係は妥当であるか。	-	-		
	単位当たりコスト等の水準は妥当か。	○	国が直接、被災地域の地方公共団体に対して補助するもので、その補助率は3分の2と定められており、負担関係は妥当。		
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	-	-		
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○	費用・使途については、補助事業の交付決定及び額の確定にあたり、事業内容を精査し、真に必要なものに限定して補助を実施。		
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)	○	不用額は、地方公共団体による復旧事業の実施時期又は事業規模等の計画変更により生じたもの。		
	その他コスト削減や効率化に向けた工夫は行われているか	○	見積書は複数業者から取得するようにしていることや既存の施設・設備との共用を検討するなどの工夫を行っている。		
事業の有効性	成果実績は成果目標に見合ったものとなっているか	○	成果実績は成果目標に見合ったとおり実施されている。		
	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。	-	-		
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	○	活動実績は見込みどおりに実施されている。		
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	○	整備された施設は、被災地域の住民に対して、ブロードバンドサービスの利用又は地上デジタル放送の受信などが可能となり、有効に活用されている。		
関連事業	関連する事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)	-	-		
	所管府省・部局名	事業番号	事業名		
	-	-	-		
	-	-	-		
点検・改善結果	点検結果	<ul style="list-style-type: none"> 平成23年3月11日に発生した東日本大震災により被災した地域の地方公共団体が実施する情報通信基盤(FTTH等のブロードバンドサービス施設、ケーブルテレビ等の有線放送施設及び公共施設間を結ぶ地域公共ネットワーク施設等)の復旧については、各被災地の地方公共団体から要望があり、国民のニーズは高い。 本事業は、既に整備していた情報通信基盤の復旧を目的としており、優先度の高い事業である。 情報通信基盤の復旧は、被災地域の住民の生活向上にも寄与しており、極めて有効な事業である。 未復旧の被災地域も存在することから、引き続き、本事業の実施が必要である。 			
	改善の方向性	引き続き事業を円滑に行うため、地方公共団体における事業スケジュールや進捗状況を勘案して、調整を図りながら対応していきたい。			
外部有識者の所見					
行政事業レビュー推進チームの所見					
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況					
備考					
関連する過去のレビューシートの事業番号					
平成22年度	-	平成23年度	-	平成24年度	16
平成25年度	019	平成26年度	030		

※平成26年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。



資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)
(単位：百万円)

費目・使途
 (「資金の流れ」に
 おいてブロックご
 とに最大の金額
 が支出されている
 者について記載
 する。費目と使途
 の双方で実情が
 分かるように記
 載)

A. 岩手県大槌町			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
設計費等	調査設計費等	20			
工事費	線路設備等の工事費	12			
資材費	線路設備等の資材費	9			
計		41	計		0
B. A社			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
工事費	線路設備等の工事費	42			
資材費	線路設備等の資材費	19			
設計費等	調査設計費等	2			
計		63	計		0
C.			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	大槌町	地震・津波により被災した線路設備等の復旧	41	補助	-
2	野田村	地震・津波により被災した線路設備等の復旧	18	補助	-
3	相馬市	地震・津波により被災した線路設備等の復旧	10	補助	-
4	釜石市	地震・津波により被災した線路設備等の復旧	7	補助	-
5	気仙沼市	地震・津波により被災した線路設備等の復旧	6	補助	-
6					
7					
8					
9					
10					

B

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	A社	復旧に係る工事費、申請費用等	63	-	-
2	B社	復旧に係る設計積算業務等	11	-	-
3	C社	復旧に係る設計積算業務等	7	-	-
4	D社	復旧に係る工事費等	1	-	-
5					
6					
7					
8					
9					
10					